

# アーカイブ No.4 伊田

※アーカイブとは、重要記録を保存・活用し、未来に伝達することです。

伊田地区は旧白田川村であったが、昭和31年に、大方町と合併した。国道56号線を境に海側を伊田浦、山側を伊田郷と呼び、漁業、農業等の一次産業が今も残る地域です。

## 国道から見える観音寺



観音寺には、元の松山寺にあった本尊・地藏菩薩と薬師如来が安置されており、松山寺の後身の寺院となった。

以前は毎月地域の有志20人ほどが集まり、御詠歌を詠ったり、無縁仏のお地藏さんの前掛けを丁寧に洗ったりしていた(写真左)。近年は高齢化により、その集いも減っている。

敷地内には無縁仏のほこらや、徳を慕い供養されている盆踊り、「新吉踊り」で知られる掛川新吉の墓(写真右)や、町文化財「えい歯の碑」がある。



黒潮消防署の横を海側に向かうと、その左側に松山寺跡の石碑がある(写真右上)。松山寺は、明治初年ごろ、廃仏毀釈の政策により廃寺となった。その後大正の時代に、四国37番札所である岩本寺の弟子僧が何度か再興に努めてくれたりもしたが、かなわなかった。

## 伊田の大敷



伊田の大敷網は、ブリの定置網として、県下でも屈指の漁場であったが、2012年には一度撤退していた。その後の2016年に、県と町の補助金を受け、町内の水産会社を中心となって、定置網漁を復活させた。



## 安政津波の碑

安政元年11月4日かすかな地震の後に、津波の前兆であるといわれる鈴波が来た。その翌日5日に大地震が起こり、その後、大津波に見舞われた。

「津波により、浦は流失した。140年、150年と用心をなさい」と、後世のために忠告として刻まれた石碑が、今も伊田海岸に残されている。

## 編集後記

雨に濡れた色とりどりの紫陽花を見ると少し落ち着いた気持ちになります。

この3カ月あまり、毎日コロナ一色に染まった暗い雰囲気の中で、出口はどこにあるのか不安な日々を過ごしてきました。6月議会もコロナ対策で染まってきました。

黒潮町は県下でもスピード感を持って様々な面で対応し、町民一丸となって感染者を出さないための施策を実行しました。そしてこれからは、いかに町内を活性化できるのか問われるところですよ。

人を大切に。命を大切に。取り組みはこれからも、これまで以上に気を引き締めていきます。

(澳本 哲也)

## 議会広報常任委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員 長  | 浅野 修一 |
| 副委員 長 | 宮地 葉子 |
| 委員    | 澳本 哲也 |
| 同     | 中島 一郎 |
| 同     | 濱村 美香 |
| 同     | 宮川 徳光 |

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

発行人 高知県黒潮町議会  
編集 黒潮町議会広報常任委員会  
住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

発行日 令和2年8月1日